

大手前大学比較文化研究叢書 10

日仏文学・美術の交流

—「トロンコワ・コレクション」とその周辺—

Les Échanges culturels entre le Japon et la France:
Autour de la collection japonaise d'Emmanuel Tronquois

石毛 弓 柏木隆雄 小林宣之 = 編

▶ A 5 判・284頁／定価：本体 2,800円(税別) ISBN978-4-7842-1745-8

2014年4月刊行

17世紀に設立された歴史あるパリ国立高等美術学校と大手前大学との提携記念として開催された「日仏文化交流シンポジウム」の成果。明治27年から明治43年にかけて日本に滞在、多くの和本や美術品を蒐集、研究したE・トロンコワのパリ国立高等美術学校所蔵コレクションを柱に、日仏美術の交感を論じた7篇を日仏両言語で収録。カラーを含む図版を多数掲載。

○○ 内容目次 ○○

欧米の美術館・博物館が所蔵する京焼について—17世紀を中心に岡 佳子 (大手前大学総合文化学部教授)

ロカイユ様式と東洋

—18、19世紀フランスの蒐集家たちに見る趣味のアドベンチャー
マリ＝カトリーヌ・サユット (ルーブル美術館主任学芸員)

[藤本武司 訳・大阪大学ほか非常勤講師]

ワトーとその影響／中国風工芸品の商人と蒐集家／中国風工芸品ロカイユ

マラケ河岸の「スイ＝チュウ＝カ」

—パリ美術学校と明治期の日本
エマニュエル・シュヴァールツ (パリ国立高等美術学校主任学芸員)

[小林宣之 訳]

美術学校と日本人画家／芸術家、批評家、学識者、詩人／漂う時を求めて／鋪石と磁器

フランスにおける日本学の草分けレオン・ド・ロニーについて

—ロニーの日本文化紹介をめぐって

クリス・ベルアド (岡山大学大学院社会文化科学研究科講師)
若きロニーの東洋学者・日本学者としての出発／ロニーの日本文化紹介の活動／日本学から遠ざかるロニー

フロベールとボザール教授ボナ
柏木加代子

(京都市立芸術大学名誉教授)

シャルル・グレルとフロベール／レオン・ボナとフロベール

トロンコワ・コレクションの
花扇使者図について

盛田帝子 (大手前大学准教授)

トロンコワ旧蔵「花扇使者図」／近衛家伝来品より知られる「花扇の使」の実態／田中訥言「花扇使者図」／幕府御用絵師住吉広定に描かれた『七夕花扇使図』／草葉老人画「花扇使者図」と田中訥言画「花扇使者図」／草葉老人の画賛の典拠

エマニュエル・トロンコワの和本科レクション

—19世紀フランスにおける江戸出版文化史を構築する試み

クリストフ・マルケ (フランス国立東洋言語文化研究院教授)
忘れられた在野の日本学者エマニュエル・トロンコワ／文献で確かめられる幻のトロンコワ・コレクション／現存するトロンコワの和本科レクションの概要



いしげ・ゆみ…1970年京都府生。イギリスのダーラム大学人文学部哲学科博士課程修了。大手前大学現代社会学部准教授。
かしわぎ・たかお…1944年三重県生。大阪大学大学院文学研究科博士課程修了。大手前大学学長、交流文化研究所長。
こばやし・のぶゆき…1953年生。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。大手前大学メディア・芸術学部教授。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	日仏文学・美術の交流		本体2,800円(税別) ISBN978-4-7842-1745-8	
お名前	tel				
	e-mail				
ご住所	〒				
送本方法	☐ 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) ☐ 代 引 (書籍代＋送料を現品と引き替えにお支払い)				

本書HPのQRコード

書店番線印

谷崎潤一郎と世紀末 大手前大学比較文化研究叢書 1

松村昌家編

大手前大学で行われた日本比較文学学会全国大会のシンポジウムをもとに海外における谷崎評価も踏まえ、比較文学的見地から谷崎の文学に迫る。谷崎が世紀末的デカダンスの洗礼を受けたとされるノルダウの「世紀末」とクラフト＝エービングの「マゾヒズム」の翻訳を収録。

▶A5判・212頁／本体2,800円(税別)

ISBN4-7842-1104-7

※ヴィクトリア朝英国と東アジア 大手前大学比較文化研究叢書 3

川本皓嗣・松村昌家編

近代化過程における日本・中国・朝鮮と英国との文化交流誌。

【目次】ムスメに魅せられた人々／交差する両洋の眼差し／福沢諭吉におけるW・パジャット問題／ミルのOn Libertyは明治日本と清末中国でどのように読まれたか／キプリングと日本／『イラストレイテッド・ロンドン・ニュース』の東アジア 他

▶A5判・280頁／本体3,200円(税別)

ISBN4-7842-1297-3

阪神文化論

大手前大学比較文化研究叢書 5

川本皓嗣・松村昌家編

歌枕に詠まれたいにしへの芦屋の浜、歌人や作家に愛され、その作品に影響を与えてきた芦屋・西宮など阪神間の風土、さらに開港早々慌ただしい歴史の舞台ともなった神戸——文学、歴史から阪神文化の神髄に触れる。【目次】歌枕の詩学／松瀬青々論／昭和初期の神戸における青年団運動について／A・B・ミットフォードと神戸事件 他

▶A5判・290頁／本体3,200円(税別)

ISBN978-4-7842-1398-6

一九二〇年代東アジアの文化交流Ⅱ

川本皓嗣・上垣外憲一編 大手前大学比較文化研究叢書 7

1920年代の東アジア文化交流の様相を解明する第2弾。演劇・詩歌・文芸などをテーマに東アジアを総観する。

【執筆】カレン・ローラ・ソーナー／竹村民郎／程朝翔／周閔／劉岸偉／梁東国／趙怡／岩谷幹子／嚴安生

▶A5判・274頁／本体2,500円(税別)

ISBN978-7842-1584-3

一九三〇年代東アジアの文化交流

上垣外憲一編 大手前大学比較文化研究叢書 9

未開拓な部分が多い1930年代の東アジアの文化交流。当該各国の研究を結集してその様相を解明する。世界恐慌のため鎖国経済化が進み、東アジアでは、満洲事変を皮切りに世界大戦へと発展する時代。戦争の影で見落とされがちな当時の文化交流を様々な視点から論じる。

▶A5判・258頁／本体2,800円(税別)

ISBN978-7842-1687-1

※滅びと異郷の比較文化

日本比較文学会編

第一線で活躍する比較文化研究者が「滅び」と「異郷」のヴィジョンを東西の文学・文化・美術に探る。

【目次】I 滅びのヴィジョン／滅びとエロス・滅びと再生 II 異郷のヴィジョン／遥かなる異郷・訪れた異郷・見出された異郷

▶A5判・516頁／本体14,000円(税別)

ISBN4-7842-0821-6

風俗絵画の文化学Ⅱ 虚実をうつす機知

松本郁代・出光佐千子・彬子女王編

風俗絵画とは虚実をうつす機知の媒体である。美術史・歴史学・文学・文化人類学等を専門とする研究者が、風俗絵画分析を進め、粘り強く議論を繰り返して生まれた学際的文化研究15篇。

▶A5判・450頁／本体7,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1615-4

国際デザイン史 日本の意匠と東西交流

デザイン史フォーラム編

日欧デザイン史上における「影響関係」「交流」を国別にまとめ比較通覧した国際交流史としてのデザイン史。各国の年表と概説的解説、生没年・原綴を付した人名索引、挿図約180点を収録。大阪大学大学院文学研究科美学研究室主催フォーラムの成果。

▶A5判・304頁／本体2,900円(税別)

ISBN4-7842-1079-2

※視覚芸術の比較文化 大手前大学比較文化研究叢書 2

武田恒夫・辻成史・松村昌家編

源氏物語からラファエル前派まで、日欧の古代から現代までの文学テキストと絵画・工芸などとの関わりを、まるで謎解きのように解いていく。文学と視覚芸術の交差点。【内容】物語絵から物語図へ／文芸を着る／むさしの、そして『武蔵野』まで／ゴーガン作『デ・ハーンの肖像』に描かれた書物／マンチェスター美術館名宝展覧会 他

▶A5判・256頁／本体2,800円(税別)

ISBN4-7842-1187-X

夏目漱石における東と西 大手前大学比較文化研究叢書 4

松村昌家編

明治の文豪・夏目漱石の小説において、そこに織り込まれた西洋的概念と東洋的概念の葛藤、直接影響を受けた小説との比較、イギリスの事物の受容の様相など、気鋭の研究者たちによる漱石文学論。

【内容】小説美学としての＜非人情＞／『吾輩は猫である』におけるメラニコリーと神経衰弱／奇人たちの饗宴／漱石の薔薇戦争 他

▶A5判・208頁／本体2,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1335-1

※一九二〇年代東アジアの文化交流

川本皓嗣・上垣外憲一編 大手前大学比較文化研究叢書 6

大正デモクラシー下の日本では、好景気と安定した国際関係により、海外交流が新展開を見せた。明治期の交流にくらべて研究の事例も少なく、未開拓の部分も多い1920年代の東アジア文化交流の様相を、当該各国の研究者を結集することによって、明らかにする。

▶A5判・232頁／本体2,800円(税別)

ISBN978-7842-1508-9

比較詩学と文化の翻訳

川本皓嗣・上垣外憲一編 大手前大学比較文化研究叢書 8

国際比較文学会(ICLA)会長であった故アール・マイナー氏の追憶と、同じくICLA会長を務めた川本皓嗣大手前大学前学長の退職を祝うため、各国から集った研究者の共同論集。詩歌の翻訳から民謡、仏教、獅子舞、ベルジャの涙壺まで、比較文化と翻訳にまつわる事象を様々な論じる。

▶A5判・286頁／本体2,500円(税別)

ISBN978-7842-1637-6

翻訳文学の視界 近現代日本文化の変容と翻訳

井上健編

直訳と意訳、翻訳者の役割、原作者の言語意識……。言語が自国文化と深く関わる以上、翻訳文学はつねに複雑な要素をはらむ。最前線で活躍中の研究者たちが、比較文学・比較文化研究の立場から翻訳文学の諸相を語り可能性を探る。

▶A5判・300頁／本体2,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1600-0

※中国文人画家の近代 豊子愷の西洋美術受容と日本

西楨偉著

豊子愷は民国期から人民共和国期まで世相人情を反映する抒情漫画や随筆の名手として身辺雑事から文学・美術・音楽などを題材に軽妙な語り口の散文を遺した。豊子愷が日本を通して西洋美術を受容したことの意味を問いながら、20世紀日中知の交流の軌跡を検証する。

▶A5判・384頁／本体5,500円(税別)

ISBN4-7842-1230-2

※海を渡り世紀を超えた

竹内栖鳳とその弟子たち

田中日佐夫・田中修二共著

栖鳳滞欧期の足跡をたどり、その後の作品との関連にもふれつつ、「栖鳳山脈」の作家たちもとらあげる。100年ぶりに発見された屏風「羅馬之図」をカラーで誌上初公開。

▶A5判・220頁／本体3,048円(税別)

ISBN4-7842-1106-3

※ドイツにおける＜日本＝像＞

ユーゲントシュティールからバウハウスまで

クラウド・デランク著／水藤龍彦・池田祐子訳

ドイツ美術における日本美術、ひいては横断的な日本＝像の変遷をたどる。裾野の広い日本＝像の提示を可能にした彩色写真や、ヨハネス・イッテンにおける「山水」「南画」の影響に関する考察などは特筆。

▶A5判・312頁／本体3,800円(税別)

ISBN4-7842-1194-2

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。